

しあわせって何だろう？

～カンボジアが教えてくれたもの～



カンボジアという国を知っているかな？

東南アジア...中国の南西、タイやベトナムの隣の国。

昔、フランスの植民地にされていたり、
戦争に巻き込まれて地雷がたくさん埋まっていたり、
内戦でたくさんの罪のない人が殺されたり...

悲惨な事件がたくさんあった国。

私も行ってみる前は「大丈夫かな？」って心配だった。

でも！**実際のカンボジアはとっても平和！！**

戦争とか本当にあったのかな？と思うくらい、みんな元気で笑顔。
とっても親切で優しいし、すぐに友達になれる。

ちょうど第二次世界大戦後の日本みたいに、
ぐんぐん街には建物ができて、経済も流通も発展中。

みんな目がキラキラしていて、とってもエネルギッシュ！！



カンボジアではアメリカのドルと、
カンボジア通貨のリエルを一緒に使ってるよ。

今、日本円が高いから、何をするのもとっても安い。
ホテルに一泊するのが約200～400円。
食堂でご飯を食べるのも一食約100円。
ネイルを爪に塗ってもらうのも、美容室で髪を切るのも約100円。
服もカバンも、数百円で色々買えちゃう。

お金って、いろんな使い方ができるね。
違う国に行くと、100円で誰かの命が救えたり、
おなかがすいた子供たちに果物を作ってくれる木を植えたり。
数万円で学校も作れるんだよ。

だからお金を大切に使いたいね。

「100円で何ができるんだろう？」

たくさんの可能性が世界にはたくさんあったんだ！！





デパートがあつて、携帯電話ショップがあつて、ネットカフェがあつて...

こんな日本と同じような大きな街もあるけど、
やっぱりまだ開発されていない村もたくさんあったよ。

学校や水を汲みに行くのに遠くまで歩かないといけない。
水道も通っていない、電線もない村。

お金もみんな、ほとんど持っていない。



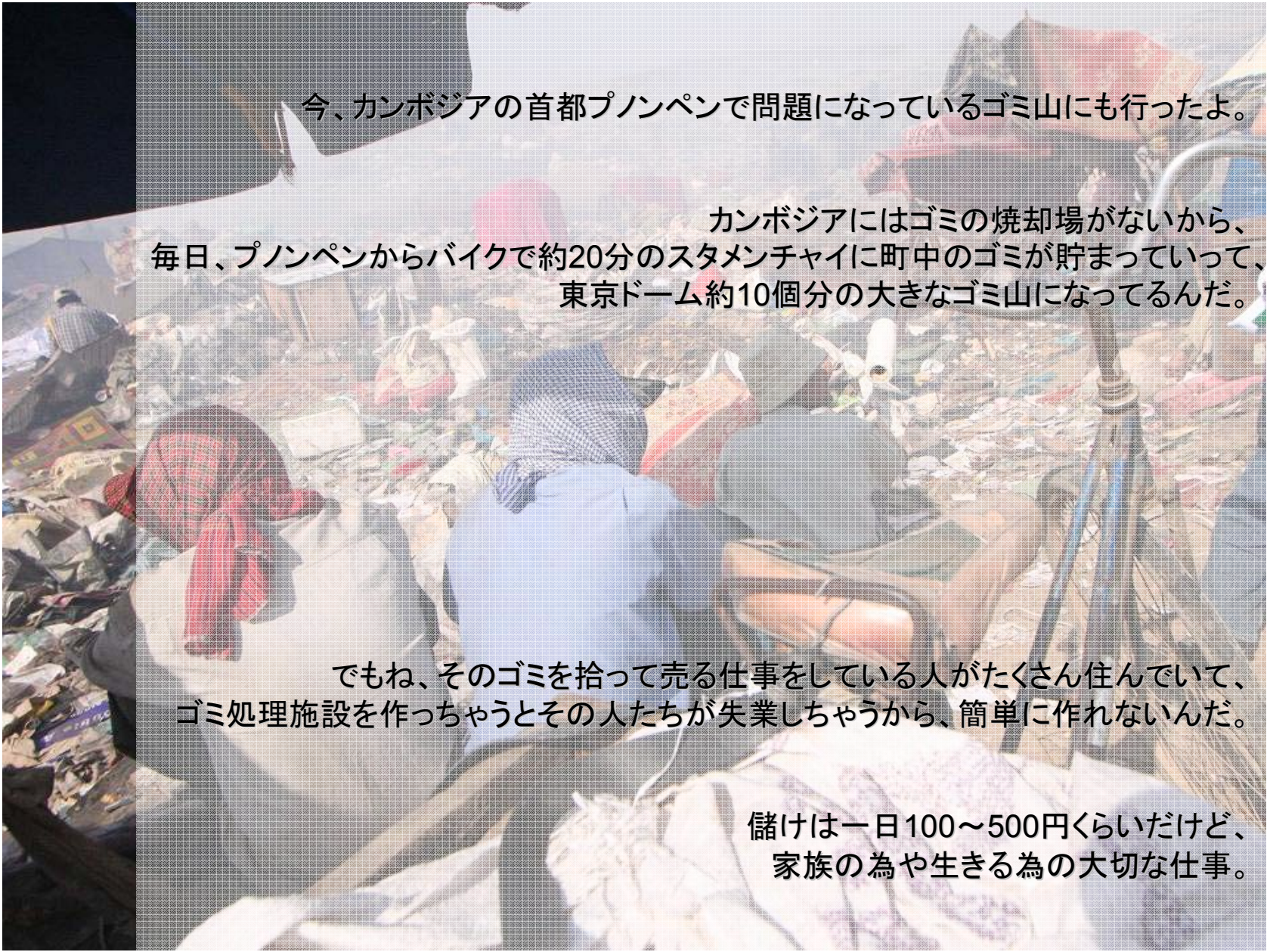
でもね、子供たちと池に飛び込んだり、手をつないで歌ったり、
発電機をつないでCDの音楽でみんなで踊ったり...

お金や言葉がなくても、すごく毎日が楽しいんだ！！

みんなが笑ってる。

お金や物は何もないけれど、たくさん大切なものがあつたよ。

生きているだけなのに、信じられないくらい幸せだ！って、
おなかの底から思えたんだ。



今、カンボジアの首都プノンペンで問題になっているゴミ山にも行ったよ。

カンボジアにはゴミの焼却場がないから、
毎日、プノンペンからバイクで約20分のスタメンチャイに町中のゴミが貯まっていて、
東京ドーム約10個分の大きなゴミ山になってるんだ。

でもね、そのゴミを拾って売る仕事をしている人がたくさん住んでいて、
ゴミ処理施設を作っちゃうとその人たちが失業っちゃうから、簡単に作れないんだ。

儲けは一日100～500円くらいだけど、
家族の為や生きる為の大切な仕事。

ゴミを放置しているからバイ菌もいっぱいいる。
時には傷口に入って化膿したり、小さな子は死んでしまう事もある。
時々、ゴミが自然発火して火事になったり、
ダイオキシンが出たり...
思わずタオルで鼻や口を覆ってしまうくらい煙たくて、視界も悪い。

そんなスタメンチャイに住んでいる子供たちを、
衛星的な街の学校に通ってもらおう！
...と、いろんな支援をしているグループもある。

だけれど、自分からゴミ山に戻ってくる子供たちも多い。

「私、生まれ変わってもここに居たいよ。家族がいる大切な家だもん。」





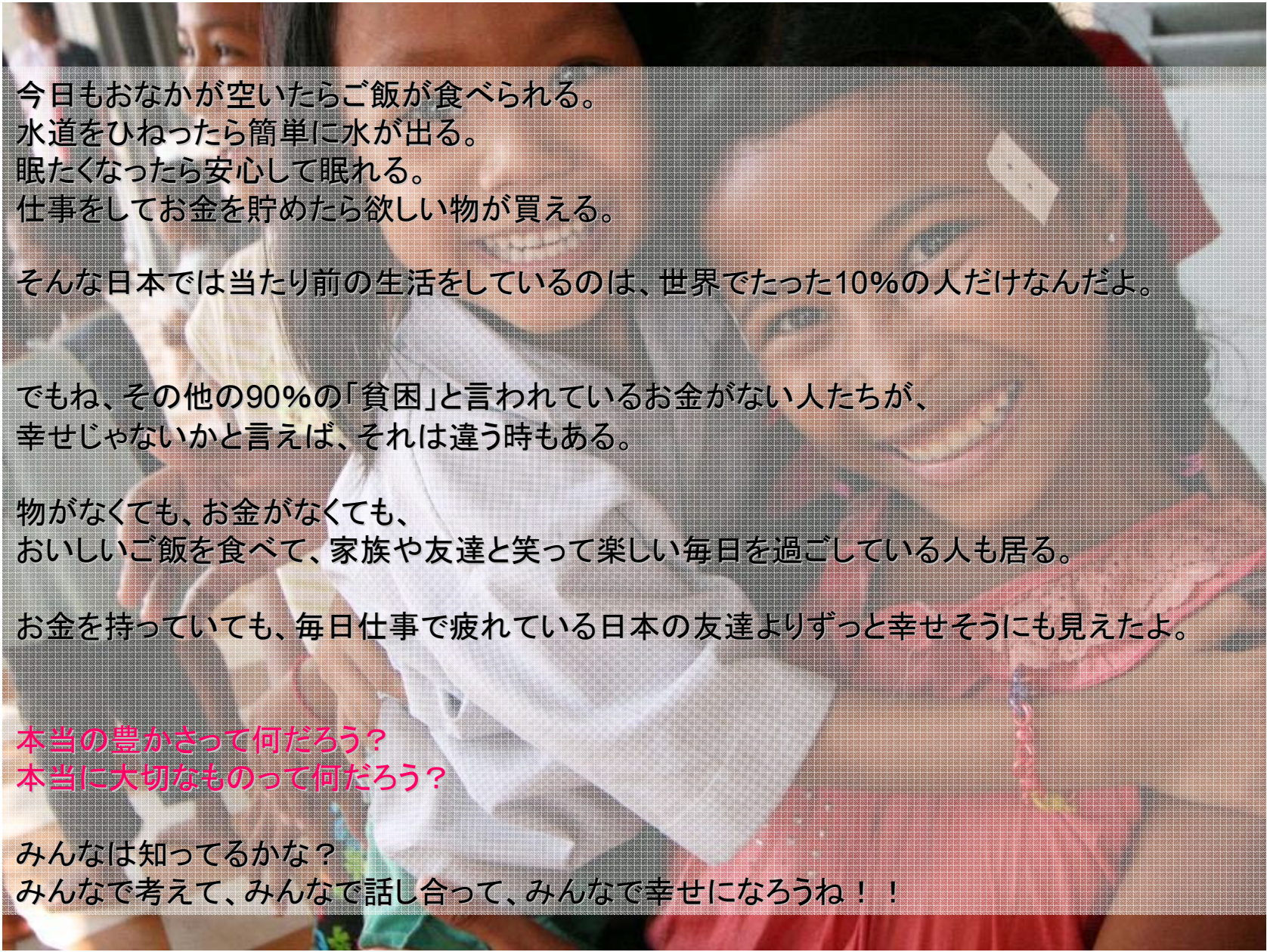
幸せって何なんだろう????

お金があること?
欲しい物がたくさん手に入ること?

本当に大切なものは、幼い子でも知っていた。

ゴミ山で生きている人たちは、普通の街と変わらず、
笑いながら仕事をして、楽しそうに生きていた。

本当の幸せは、目の前にあったんだ。



今日もおなか为空いたらご飯が食べられる。
水道をひねったら簡単に水が出る。
眠たくなったら安心して眠れる。
仕事をしてお金を貯めたら欲しい物が買える。

そんな日本では当たり前的生活をしているのは、世界でたった10%の人だけなんだよ。

でもね、その他の90%の「貧困」と言われているお金がない人たちが、
幸せじゃないかと言えば、それは違う時もある。

物がなくても、お金がなくても、
おいしいご飯を食べて、家族や友達と笑って楽しい毎日を過ごしている人も居る。

お金を持っていたても、毎日仕事で疲れている日本の友達よりずっと幸せそうにも見えたよ。

本当の豊かさって何だろう？
本当に大切なものって何だろう？

みんなは知ってるかな？
みんなで考えて、みんなで話し合って、みんなで幸せになろうね！！